

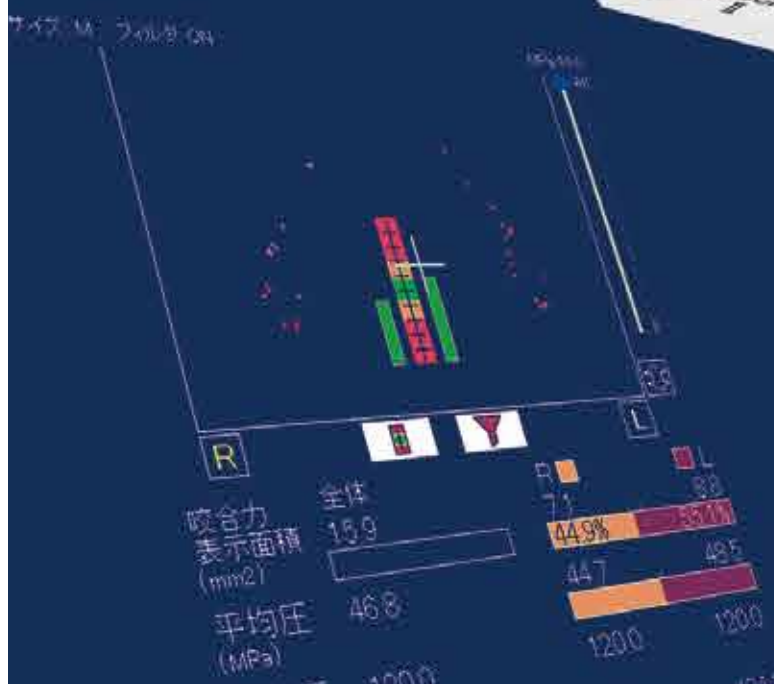
デンタルプレスケールⅡ

咬合力測定システム用フィルム

GC

100 Smile for the World
Since 1921
100 years of Quality in Dental

見えるチカラ



保険適用

咬合力測定システム用フィルム「デンタルプレスケールⅡ」&咬合力分析ソフト「バイトフォース アナライザ」は、咬合力を可視化し、客観的に把握することができる咬合力分析システムです。

咀嚼機能の維持・改善を図るためには咀嚼能力を検査し、評価することが大切です。

食べ物を「噛める」「噛めない」ということは、必要な咬合力が発揮されているか否かである、とされています。

天然歯あるいは人工歯の咬合面に発現する咬合力は、力を発現する側の筋機能の問題と、

その力を受ける側の歯、歯根膜（義歯、粘膜）、さらには咬合が関係しています。

ジーシーの咬合力分析システムは、咀嚼機能の根源である咬合力を、

患者さんへの負担も少なく、簡便・短時間で

測定することができるシステムです。

参考資料：臨床咬合学事典 医歯薬出版株式会社 2008年5月20日発行

咬合力測定システム用フィルム

デンタルプレスケールⅡ

「ギュッ」と咬むだけ 簡単検査

デンタルプレスケールⅡは、歯科用に設計した感圧シートを使用し、10～120MPaの幅広い帯域で咬合圧を測定可能。患者さんの負担も少なく簡単に検査が行えます。

約3秒
咬みしめる
だけ!

デンタルプレスケールⅡを咬み
スキャナで読み取れば
手軽に可視化できます



※コンピュータ、スキャナは付属しません。

スクリーニング検査

術前・術後比較

経過観察

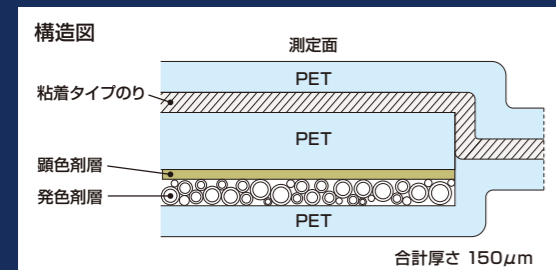
咬合力分析ソフト

バイトフォース アナライザ

多彩な表示機能により力の状態をビジュアルとデータで把握

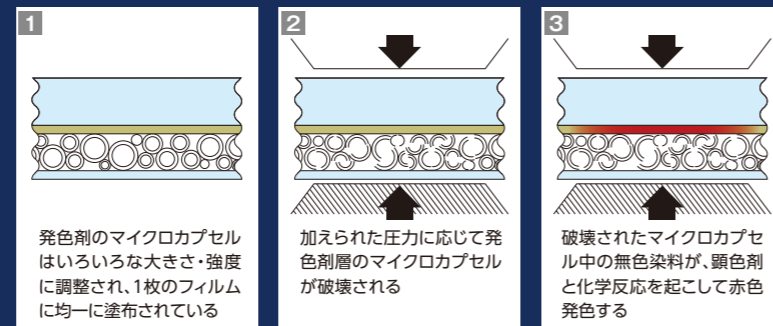
読み取ったデータは咬む力の強さやバランスがひと目で確認ができ、多角的に解析が行えます。また患者さんごとに検査情報を管理することで、経過観察をスピーディに比較できます。患者さんにもわかりやすい“コミュニケーション”画面表示も可能です。

■ デンタルプレスケールⅡの内部構造



デンタルプレスケールⅡは、PETフィルムの支持体に顕色剤を塗布し、両面を極薄層のPETフィルムでラッピングしています。

■ 発色する仕組み (イメージ)



■ 圧力フィルタ機能による自動クリーニング

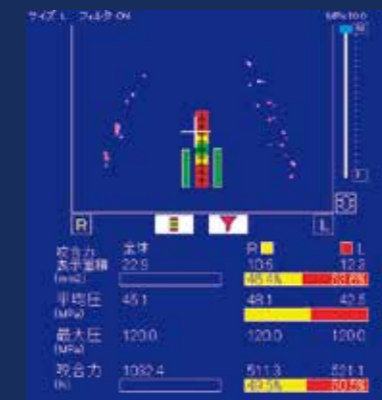
圧力フィルタ機能とは、デンタルプレスケールⅡ上のノイズ（咬みしめ以外が原因の発色）が多く含まれる部位を自動的に除去する機能です。

ただし、圧力フィルタ機能による自動クリーニングのあり/なしで得られる解析結果が異なりますので、口腔機能低下症の診断における咬合力低下の基準値*については下記をご参照ください。

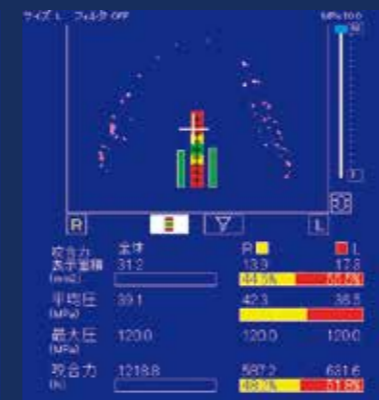
圧力フィルタ機能による自動クリーニングあり/なしの場合の基準値

圧力フィルタ機能による自動クリーニングありの場合	圧力フィルタ機能による自動クリーニングなしの場合
350N未滿	500N未滿

*口腔機能低下症の診断のための基準値：日本歯科医学会「口腔機能低下症に関する基本的な考え方（令和2年3月）」

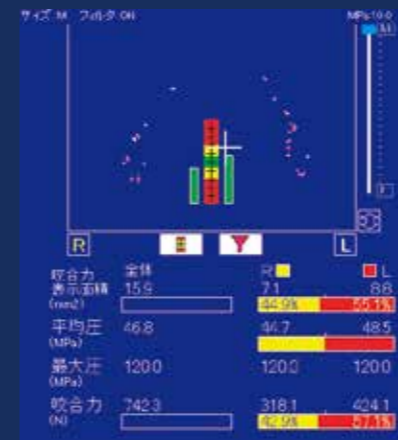


圧力フィルタ機能による自動クリーニングありの場合



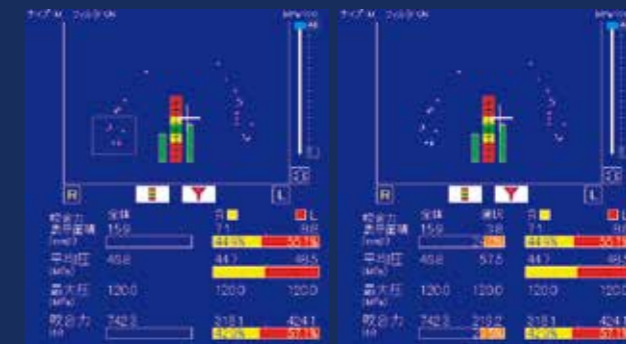
圧力フィルタ機能による自動クリーニングなしの場合

■ フォースバランス



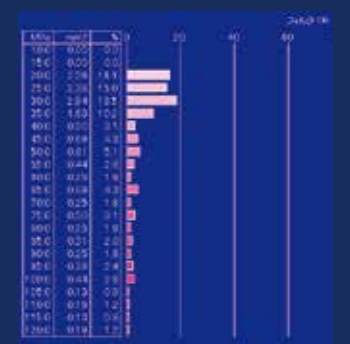
バイトフォース アナライザの基本画面です。咬合力が発現した部位と、咬合力、咬合力表示面積、最大圧、平均圧、重心の位置やバランスなどを数値とビジュアルで表示します。

■ クローズアップ



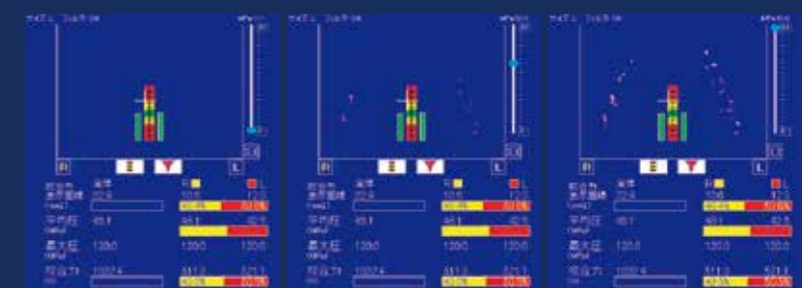
マウスをドラッグして囲むだけで、注目したい部位の、咬合力、咬合力表示面積、平均圧等を抽出し表示します。また、咬合力、咬合力表示面積の全体の値に対する割合も表示します。

■ ヒストグラム



5MPaごとの圧力域に分けた咬合力表示面積とその割合をバークラフで表示します。

■ アニメーション



最小圧力から順次最大へ、またはその逆を動的に表示します。圧力ごとの出現部位をひと目で把握することができます。

デンタルプレスケールⅡ



詳しい製品情報は
コチラ



サイズ●3種=S、M、L

包装●1函:40枚入

デンタルプレスケールⅡ 一般医療機器 特定保守管理医療機器 13B1X00155000295

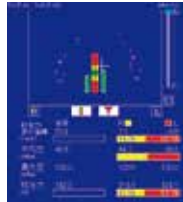
再使用禁止

咬合力分析ソフト

バイトフォース アナライジングセット



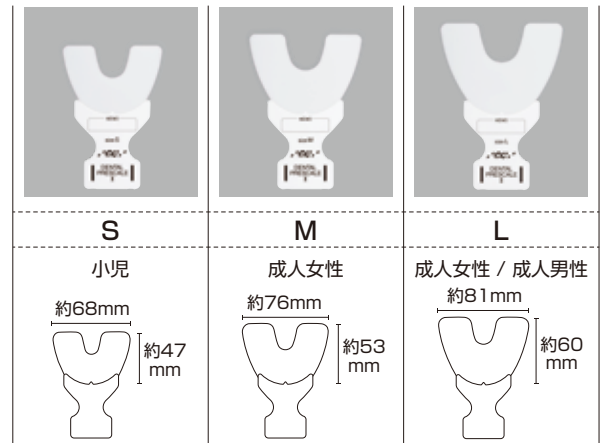
■バイトフォース アナライザ(ソフトウェア)動作環境
OS:Windows 8/8.1/10(各OS 32/64Bit版)
プログラム:Microsoft .Net Framework 4.0以上必須
CPU:Intel i3以降
メモリー:2GB以上
ディスプレイ:最低解像度 800×600以上
USBポート(2ヶ):USB1.1/2.0/3.0
CD-ROMドライブ
※上記動作環境を満たしていても、全てのコンピュータでの動作を保証するものではありません。



包装●バイトフォース アナライザソフトウェアCD 1枚、ライセンスシングル1個、キャリブレーションシート 1枚、位置決めテンプレート 1枚、'デンタルプレスケールⅡの咬ませ方'マニュアル

※使用するコンピュータにはバイトフォース アナライザソフトウェアのインストール及びスキャナ接続設定が必要になります。インストール設定作業は弊社では行いませんので、予めご了承ください。
※デンタルプレスケールⅡはオクルーザー(703,705,707,709)で読み込むことはできません。
※既存製品のデンタルプレスケールは本製品のバイトフォース アナライザ(ソフトウェア)・弊社指定のスキャナシステムで読み込むことはできません。

■ サイズ [目安]



咬合力分析システム

デンタルプレスケールⅡ 咬合圧検査 スターターキット

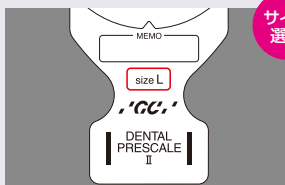
包装●デンタルプレスケールⅡ(サイズM、L×各1函)、
バイトフォースアナライジングセット

デンタルプレスケールⅡ読み取り用スキャナ



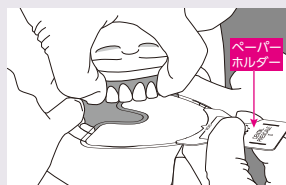
弊社ではお取り扱いしておりません。ジーシーホームページ「製品カタログ」ページにて弊社指定のスキャナをご確認の上、別途お求めください。(弊社が指定するスキャナ以外では使用することができません)

■ 検査の主な流れとポイント



サイズ
選択

1 模型と合わせたり被蓋関係を確認するなどし、適切なサイズをS、M、Lから選択します。



ペーパー
ホルダー

2 歯列全体がフィルムに納まるようにデンタルプレスケールⅡを口腔内へ挿入します。



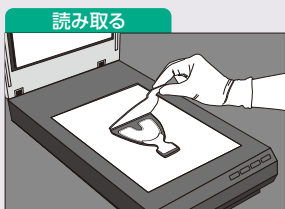
咬む

約3秒

3 デンタルプレスケールⅡを約3秒間咬み締めてもらいます。



4 プレスケールシートに付いた唾液をやさしく拭き取り、消毒用エタノール等で清拭消毒します。



読み取る

5 位置決めテンプレートとデンタルプレスケールⅡをスキャナにセットし、読み込みます。

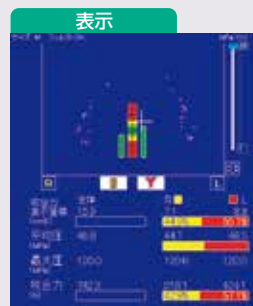


新規読込

アイコンを
クリック



6 不要な外形をトリミングし、咬んで発色した部位を抽出します。



表示

7 咬合力等の解析結果が表示されます。

※掲載情報とジーシー研究所の参考データは2021年6月現在のものです。
※製品の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
※色調は印刷のため現品と若干異なることがあります。

ご使用に際しては、必ず製品の添付文書をお読みください。

発売元 株式会社 ジーシー / 製造販売元 株式会社 ジーシー
東京都文京区本郷3丁目2番14号 東京都板橋区蓮沼町76番1号

カスタマーサービスセンター
お客様窓口 ☎0120-416480
受付時間9:00a.m.~5:00p.m.(土曜日、日曜日、祝日を除く)
<http://www.gcdental.co.jp>

支店
●東京(03)3813-5751 ●大阪(06)4790-7333
営業所
●北海道(011)729-2130 ●名古屋(052)757-5722
●東北(022)207-3370 ●九州(092)441-1286

iPhoneもAndroidも



ジーシー
公式アプリ



どちらもコチラのQRでOK!

推奨OSバージョンはiOS:12.4以上、Android:8.0以上です。